



# 平成22年度 国際交流事業 小学校5年生と神奈川工科大学の留学生が ふれあい授業を開催

自治活動応援課 ☎ 84-0315

平成22年度国際交流事業を2月10日(木)、開成小学校と開成南小学校の5年生を対象に実施しました。  
この事業は、神奈川工科大学(厚木市)で学ぶ留学生5人を招き、諸外国の人びととの対話や、外国の文化や風習に触れることから、児童の国際交流に対する意識を高めることを目的に行い、アフリカのコートジボワールをはじめ、サウジアラビア、中国、韓国、台湾の留学生たちとの交流を深めました。

### 多くの笑顔が印象的でした

子どもたちは、留学生の出身国と日本との違いや、出身国の歴史や文化、観光スポット、流行など、幅広い話題に興味深く聞き入っていました。最初はお互いが緊張した様子でしたが、「ふれあいタイム」での、子どもたちと留学生によるソーラン節の踊りや、さまざまなゲーム、教室での給食と、時間がたつにつれて友好が深まり、留学生の周りにできた子どもたちの輪の中には、すてきな笑顔があふれていました。

また、当日は両校ともに学校開放デーを実施していたため、5年生の教室にきた多くの保護者の方も授業の様子を見ることができました。



小学生からすてきな手紙が送られました

### 子どもたちの手紙に感激

授業が終了した後、両校の児童の皆さんから、留学生一人一人にお礼の手紙が送られてきました。子どもたちからの手紙を受け取った留学生の皆さんから、感想が寄せられましたので紹介します。

これからも町では機会をとらえて、国際交流の意識啓発に取り組んでいきます。

## 開成小学校

游詩璇(ユウシシェン)さん (台湾)



5年3組の皆さんと一緒に「伝言ゲーム」や「ふうせんバレー」を体験し、「がんばった賞」をもらいました。昼ごはんも一緒に食べ、私はとてもうれしかったです。  
私は大学2年の時から、台湾の田舎の小学生と遊びながら、日本のことを調べて紹介していました。今回は日本の小学校で台湾の紹介をするチャンスがあり、みなさんからもいろいろな日本文化や、小学校のことを教わりました。台湾に帰ったら必ず皆さんが教えてくれたことを台湾の小学生に教えます。  
帰国する前にこの大切な機会と経験を持って良かったと思います。

思います。私にとって皆さんの笑顔はいちばんのプレゼントです。ありがとうございます。  
5年3組の皆さん、なわとびの試合で優勝おめでとうございませう。すごいです。私はなわとびが苦手なので、今度教えてください。ぜひ台湾に来てください。また、会いましょう。

アルブラディクテルさん (サウジアラビア)



僕は初めて日本の小学校を訪ねました。皆さんがとてもやさしく、とてもうれしかったです。子どもたちは日本のいろいろなゲームを教えてくださいました。特に印象に残ったゲームは「フルーツバスケット」で、とても楽しかったです。またやりたいです。初めて小学校を訪ねたため、

緊張と恥ずかしさのあまり、アラビアのゲームを教えることができませんでした。これからも機会があればアラビアのいろいろなことを教えてくださいたいと思います。

金賢景(キムヒョンギョン)さん (韓国)



交流会は今年で3回目ですが、今年もとても楽しかったです。  
初めての時は緊張しすぎて子どもたちと仲良くなるまでに時間がかかりましたが、今回は時間が足りなくらい子どもたちとお互い仲良く楽しい時間を過ごせたと思います。それは全てこの交流会を用意してくれた開成町と先生、子どもたちのおかげだと思います。  
子どもたちは元気で、素直で、自分がやりたいことを迷

## 開成南小学校

ドンメロエマニユエルさん (コートジボワール)



5年1組の皆さんの前で発表することは、とても緊張しました。  
皆さんは、積極的に質問を

してくれて、質問には意外と大人っぽいものもありました。皆さんと給食を食べながら話したり、発表を見たりして、私自身も楽しかったです。

黄德權(ファントクケン)さん (中国)



中国を紹介する留学生として、今回の交流会に参加させていただきました。交流会で、皆さんと一緒に「ソーラン節」を踊ったり、おいしい給食を食べたり、さまざまな交流ができて、とても楽しかったです。外交に関する質問を受けた時、大人のトラブルが子どもたちに影響を与えていると感じ、残念な思いでした。今後このような交流活動を通して、両国の人々が交流を深め、仲良くしていけたらいいと思います。